

研究所彙報

一 二〇二二年度研究所・所員リスト

- 教授 早矢仕 智子（日本語教育学）
教授 市野澤 潤平（文化人類学）
教授 今林 直樹（国際関係論）
准教授 川口 かしみ（憲法学）
准教授 栗原 健（宗教学・近世ドイツ史）
准教授 間瀬 幸江（フランス文学・演劇）
准教授 松本 周（悲嘆ケア、キリスト教社会倫理）
教授 松浦 光和（心理学）
教授 宮原 育子（地理学・地域資源論・観光まちづくり）
准教授 永田 貴聖（文化人類学・移民研究）
教授 清水 禎文（教育学）
准教授 杉井 信（社会人類学）
准教授 高橋 陽一（日本近世史・旅行史・歴史資料保全学）

教授 田中一裕(生態学)
 教授 天童睦子(女性学)
 教授 豊澤弘伸(国語教育)
 教授 八木祐子(文化人類学・インド研究)
 准教授 俞 幪 蘭(臨床心理学・家族心理学)
 教授 吉村典子(西洋美術・デザイン史)
 客員 阿部 隆(宮城学院女子大学名誉教授・人文地理学)
 客員 後藤 純子(元大阪市立大学文学部助教授・インド学・宗教学)
 客員 後藤 久太郎(宮城学院女子大学名誉教授・建築史)
 客員 平川 新(元宮城学院女子大学学長・日本近世史研究・歴史資料保存学)
 客員 井上 研一郎(宮城学院女子大学名誉教授・近世美術史)
 客員 犬飼 公之(宮城学院女子大学名誉教授・古代文学)
 客員 岩川 亮(元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学)
 客員 J. F. モリス(宮城学院女子大学名誉教授・日本文化論)
 客員 片瀬 一男(東北学院大学教授・教育社会学・計量歴史社会学)
 客員 菊池 勇夫(宮城学院女子大学名誉教授・日本近世史)
 客員 木曾 恵子(東北学院大学および宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・ジェ

ンダー研究)

客 研 究 員	九 里 順 子	(宮城学院女子大学名誉教授・日本近代文学)
客 研 究 員	丸 山 仁	(宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史)
客 研 究 員	森 雅 彦	(宮城学院女子大学名誉教授・西洋美術史)
客 研 究 員	大 迫 章 史	(東北学院大学教授・教育行政学)
客 研 究 員	新 免 貢	(宮城学院女子大学名誉教授・宗教学)
客 研 究 員	土 屋 純	(元宮城学院女子大学教授・地理学)
客 研 究 員	山 極 優 子	(多賀城市教育委員会事務局埋蔵文化財調査センター・民俗学)
客 研 究 員	安 田 容 子	(東北大学災害科学国際研究所助教・生き物文化誌〈人と動物の関係史〉・日本近世美術史〈地方文人・画人研究〉)

二 共同研究について

本年度の共同研究は次のとおりである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖縄研究ノート』No.32

三二〇二二年度研究活動報告

公開シンポジウム

二〇二二年五月二六日（土）一六時二〇分～一八時二〇分

（Ⅱ宮城学院女子大学講義館C二〇一／オンラインZOOM併用）

「ジェンダー平等と持続可能な未来」

司会 天童 睦子（本学一般教育部教授）

基調講演 活躍するフィンランドの女性たち…幸福と持続可能な未来に向けて“Energetic Finnish Women

for Well-being and Sustainable Future”（言語：英語 日本語通訳付き）

講師 アンナーマリアウィルヤネン氏（フィンランドセンター（the Finnish Institute in Japan）所長）

企画…宮城学院女子大学 地域子ども学研究センター

主催…宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所

共催…宮城学院女子大学附属発達科学研究所

宮城学院女子大学附属人文社会科学研究所

後援…復興庁、The Finnish Institute in Japan

宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、日本創造学会

公開シンポジウム

二〇二二年一月二二日（土）一四時～一五時四〇分

（Ⅱ宮城学院女子大学講義館C二〇二／オンラインZOOM併用）

「地域女性とエンパワーメントW20の取り組み」

挨拶 今林 直樹（本学人間文化学科教授）

趣旨説明 天童 睦子（本学一般教育部教授）

ゲストスピーカー・発言者

「W20の役割と機能―経済的エンパワーメントはなぜ重要か」

小安 美和氏（株式会社Will Lab 代表取締役（W20日本代表団co-chair））

「W20の新動向―環境、人権、障害」

織田 由紀子氏（JAWWW（日本女性監視機構）副代表）

「地方にくらす女性の可能性―宮城からの発信」

石本 めぐみ氏（特定非営利活動法人ウイメンズアイ代表理事）

「災害女性学とエンパワーメント・モデル」

天童 睦子（本学一般教育部教授・国際ジェンダー学会元会長）

公開講演会

二〇二三年三月一〇日（金） 一時五〇分開場、一二時〇〇分～一四時二〇分（Ⅱ宮城学院女子大学学生食堂₃ピ
エリス・うふカフェ）

「女子大学発 社会課題への挑戦」

第一部 一二時〇〇分～一三時一〇分

「パパと食育 災害食で世界の料理を食べよう」

第二部 一三時一〇分～一四時二〇分

「社会課題への挑戦！ー男女共同参画と市民のエンパワーメント」

対談 遠藤恵子氏

（東北学院大学名誉教授、公益財団法人せんだい男女共同参画財団アドバイザー・フェロー）

主 催 宮城学院女子大学

企画協力 宮城学院女子大学地域子ども学研究センター

協 力 宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所・人文社会科学研究所

後 援 特定非営利活動法人ウイメンズアイ

司会協力 M G U 学生

天童 睦子（本学一般教育部教授・女性学）

公開講演会

二〇二三年三月二日（日）一四時開場、一四時三〇分～一六時三〇分（Ⅱ仙台市福祉プラザ一階 プラザホール）
「悲しみへの寄り添いと癒し～音楽の恵み」

第一部 講演と演奏 「人生の最期に寄り添う竖琴」

企画・司会 松本 周（本学一般教育部准教授）

講師 キャロル・サック氏（音楽サナトロジスト）

第二部 対談 「いのちを運ぶ息と音」

キャロル・サック氏（音楽サナトロジスト）

大内 典（本学一般教育部教授）

主催 宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所

共催 宮城学院女子大学社会連携センター、宮城学院女子大学一般教育部

後援 仙台市社会福祉協議会、宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター、宮城学院同窓会

協力 宮城学院女子大学 YWCA

公開研究会

第一回公開研究会（キリスト教文化研究所公開新所員紹介研究会）

二〇二二年七月一日（金） 一六時二〇分～一七時五〇分（〓本学講義館四階C四〇二／オンラインZOOM）

司会 八木 祐子（本学人間文化学科教授）

報告 公私二元論と憲法二四條―憲法と私たちの生活

川口 かしみ（本学一般教育部准教授）

第二回公開研究会（キリスト教文化研究所公開研究会）

二〇二二年一〇月二六日（水） 一三時～一四時三〇分（〓本学講義館四階C四〇三／オンラインZOOM）

司会 松本 周（本学一般教育部准教授）

報告 悲しみを語り伝えるために 旧約聖書にみる語り部の格闘

左近 豊氏（青山学院大学教授・旧約聖書学）

※一般社団法人キリスト教学校教育同盟のキリスト教学校教育振興助成による開催

〈共同研究「南島における民族と宗教」主催〉

公開講義

二〇二二年一月二六日（土） 一三時三〇分～一五時三〇分（〓本学講義館三階C三〇一）

司会 栗原 健（本学一般教育部准教授）

演題 沖縄の習俗と説話

山里 純一氏(名桜大学院特任教授)

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

第一回公開研究会

二〇二二年一月一八日(金) 一四時四〇分～一六時一〇分(〓本学講義館四階C四〇三)

司会 松本 周(本学一般教育部准教授)

報告 グリーフケア研究会

尹 玲花(インレイカ)氏(mammaria tsukiji:院長)

第二回公開研究会

二〇二二年一月二五日(金) 一六時二〇分～一七時五〇分

(〓本学講義館四階C四〇三/オンラインZOOM併用)

司会・企画 永田 貴聖(本学現代ビジネス学科准教授)

報告 韓国ソウルの日本関係ビジネス―「反日」・「日流」そして「アフターコロナ」―

今里 基氏(立命館大学大学院博士課程・移民・地域研究(韓国))

第三回公開研究会

二〇二二年一月二六日(土) 一三時～一七時(〓本学講義館四階C四〇三/オンラインZOOM併用)

報告Ⅰ 現代アジア女性のキャリア形成に関する人類学的視座
司会 八木 祐子（本学人間文化学科教授）

報告Ⅱ キャリアの模索と親密圏の形態―東北タイ農村における大卒女性の選択にみる自立／依存のあり方
菅野 美佐子氏（青山学院大学地球社会共生学部助教）

報告Ⅲ キャリア選択の可能性と、しがらみ―現代ベトナム都市部における女性大学教員の事例から
木曾 恵子（本学学非常勤講師・キリスト教文化研究所客員研究員）

第四回公開研究会
伊藤 まり子氏（京都市立国際言語平和研究所客員研究員）

二〇二二年一月五日（月）一六時三〇分～一八時（〓オンラインZOOM）

司会 杉井 信（本学人間文化学科教授）

報告 フィリピン・アブラ州での地震被害と被災の様子と人々の暮らしの今

加川 真美氏（アジアなりわいネット代表）

第五回公開研究会

二〇二三年一月五日（木）一六時二〇分～一七時五〇分（〓本学講義館四階C四〇三／オンラインZOOM併用）

司会・企画 永田 貴聖（本学現代ビジネス学科・准教授）

報告 移住民の身体を統治する―文在寅政権下の移住民関連政策を中心に

ベル 裕紀氏（法政大学非常勤講師・文化人類学）

第六回公開研究会

二〇二三年二月二十五日(土) 一三時三〇分～一七時(Ⅱ本学第二講義館二階K二〇二)

コロナ禍の南アジア

報告Ⅰ コロナ禍のインド・フィールドからの報告

八木 祐子(本学学芸学部人間文化学科教授)

報告Ⅱ コロナ禍のバン格拉デシュ―不確実性と共助

南出 和余氏(神戸女学院大学英文学科准教授)

四 所員消息(二〇二二年四月―二〇二三年三月)

早矢仕 智 子 教授

学会バネルセツション 「地域と大学の連携で「つながる」を越えて何を目指すのか?―日本語学習支援・多文

化交流における地域と大学の変容型パートナーシップに向けて―」北出慶子・澤邊裕子・中川祐治・早矢仕

智子・遠藤知佐・西村聖子・川田麻記・牧田東一・佐藤弘子・山口洋典(言語文化教育研究学会 第九回年

次大会、二〇二三年三月四日、関西大学千里山キャンパス)(科研22H00671 理論と実践の往還を通じた越

境的学びによる日本語教師養成プログラムの開発と検証)

栗原 健 准教授

論文「近世琉球における『抱瘡歌』の世界―厄神歓待の習俗と首里王府による種痘―」(『沖縄研究ノート』宮

城学院女子大学キリスト教文化研究所、第三一号、二〇二二年三月三十一日、一頁―一五頁)

新刊紹介 Christopher M. GERRARD, Paolo FORLIN, Peter J. BROWN (eds.), *Waiting for the End of the World?: New Perspectives on Natural Disasters in Medieval Europe* (『西洋中世研究』第一四号、二〇二二年二月、二〇頁)

新刊紹介 Andrea KISS and Kathleen PRIBYL (eds.), *The Dance of Death in Late Medieval and Renaissance Europe Environmental Stress, Mortality and Social Response* (『西洋中世研究』第一四号、二〇二二年二月、三〇―三二頁)

新刊紹介 Valerie SCHUTTE and Estelle PARANQUE (eds.), *Forgotten Queens in Medieval and Early Modern Europe Political Agency, Myth-Making, and Patronage* (『西洋中世研究』第一四号、二〇二二年二月、四五頁)

研究報告 「Between Two Cultures: Elizabeth R. Poorbaugh's Struggle to Defend Miyagi Jyogakko – from Who? (二)の文化の狭間で―宮城女学校をめぐるエリザベス・R・プールポーの戦い―」(ランカスター 神学校国際セミナー、二〇二二年五月一〇日)

キリスト教講座「絶望名言で味わう聖書」(二〇二二年七月一四日、礼拝堂)

キリスト教講座「ウクライナ音楽を知ろう!」(二〇二二年七月二一日、礼拝堂)

キリスト教講座「宮城女学校の金子みすずたち 一九二〇～三〇年代の生徒による童謡」(二〇二三年二月七日、宮城学院キリスト教センター)

間 瀬 幸 江 准教授

研究活動記録「コロナ禍フランスの大学生生活断章：二〇二〇年度後半を中心に」（多文化社会における宗教と文化）

共同研究二五、二〇二二年三月三十一日）一七—二五頁、

研究会報告「『基礎演習』『メディア論』授業実践報告」コメントシート活用と「聴いてくれる他者」の存在

をめぐる考察」（第七一回東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会第三分科会「教育の質保証」

二〇二二年九月一日（木）

科学研究費「災いの時代における主体的叙述—語り・観察・記憶の当事者性に関する領域横断研究—」（20K00476）

成果報告同人誌『声のつながり』第一号編纂・発行（二〇二二年一〇月二二日）

番組制作「声のつながり大学」（仙台コミュニティFMラジオ3）ディレクター

« *L'Annonce faite à Marie* de Claudel sous le régime de Vichy : brève analyse des documents conservés dans

les Archives Départementales du Rhône (ADR) », in *La Censure et les périodiques sous l'Occupation*

allemande dans le sud de la France, Actes du projet de recherches « Relecture aux Archives sur le

rapport entre la Censure et des périodiques dans le sud de la France sous l'Occupation allemande » (N.

19H01245), 2022, pp. 73–84.

松 本 周 准教授

論文「福音主義キリスト教の「自由」理解」（『人文社会科学論叢』第三二号、本学人文社会科学研究所、

二〇二三年三月三十一日、一—一〇頁）

論考「宮城学院と「初週祈祷会」―押川方義を介して」（『宮城学院資料室年報 信望愛』第二八号、学校法人宮城学院、二〇二三年三月三十一日、七―一五頁）

巻頭言「クリスマスの住民登録」（『教会学校教案』通巻五二九号、日本基督教団福音主義教会連合教育委員会、二〇二二年一月、一頁）

新刊紹介『筑豊の子供を守る会』関係資料集成（復刻版）紹介（日本キリスト教教育学会「ニューズレター」第八八号、二〇二三年三月二十五日）

研究報告「リベラルアーツ教育とキリスト教」（本学人文社会科学研究所第二回公開研究会 二〇二二年一〇月七日）

講演「現代における神義論と悲嘆（グリーンフ）ケア」（日本基督教団仙台東一番丁教会全体修養会主題講演、二〇二二年一〇月三〇日）

講演「柏木義田らのキリスト教的公共意識―国家政策への異議申し立て―」（国際基督教大学アジア文化研究所ワークショップ「東アジアにおけるキリスト教と社会変動―その歴史と未来への展望―」、二〇二二年十一月二十六日）

キリスト教講座「宮城学院の源流をたどる 初週祈祷会という出来事」（宮城学院キリスト教センター、二〇二三年一月一〇日）

永田 貴 聖 准教授

教育実践報告文「『東アジアの未来』を基盤とする国際英語ワークショップの事前学習実践の成果と課題」

二〇二二年五月 『龍谷大学経営学論集』 六一(二) 一〇七〜一一五頁

新刊紹介「松尾昌樹・森千香子編『グローバル関係学6 移民現象の新展開』」二〇二二年六月 『東南アジア研

究—歴史と文化』 五一号 五七〜六一頁 東南アジア学会

研究報告「移民研究を実践するということ—『オートエスノグラフィ』の視点から」単独 二〇二二年六月二六

日 日本移民学会第三二回年次大会(京都大学)

高橋陽 一 准教授

著書「近世後期の災害と復興・防災」(安達宏昭・籠橋俊光編『東北史講義【近世・近代篇】』筑摩書房、

二〇二三年三月、一七一—一八六頁)

講演録「他領民がみた水戸藩—常陸の風土と光圀の遺沢—」(『講演録 旅人たちが観た水戸藩—旅日記・名所絵

を読む—』茨城大学人文社会科学学部、二〇二二年一二月)

書評「原淳一郎『近世の旅と藩—米沢藩領の宗教環境—』」(『歴史学研究』二〇二二、二〇二二年五月、四六一—四九頁)

編纂協力「作並温泉物語」(作並温泉を愛する会編、作並温泉旅館組合、二〇二二年八月)

エッセイ「(連載) 日本の歴史と旅 災害と観光—出羽国家潟の大地震と開田②—」(『NETT』 一一六、ほくと

う総研、二〇二二年四月、七〇—七三頁)

講演「旅人がみた江戸時代の東北」(人間文化学学科地域開放講座、BRANCH 仙台・まちづくりスポット仙台、

二〇二二年四月)

田 中 一 裕 教授

論文「Photoperiodic control of protogyny in the lawn ground cricket, *Poilonemobius mikado* (Orthoptera: Trigonidiidae)」(*Entomological Science*, e12521, 二〇二二年二月)

論文「カイコガの羽化リズム・光周期と温度周期の時刻信号としての相対的重要性」(生活環境科学研究所研究報告、宮城学院女子大学、二〇二二年三月)

研究ノート「本学新入生の体力に関する調査報告」(発達科学研究、宮城学院女子大学、二〇二二年三月)

学会報告「シバスズの雌性先熟と成虫の体サイズの性的二型」(日本昆虫学会第八二回大会、信州大学松本キャンパス、二〇二二年九月五日)

講演「家の周りを観察しよう」(宮城いきいき学園石巻校・宮城県社会福祉協議会)東松島市コミュニティセンター(二〇二二年九月一四日)

天 童 睦 子 教授

著書 地域子ども学研究会編、天童睦子・足立智昭責任編集『地域子ども学をつくる―災害、持続可能性、北欧の視点』東信堂、二〇二二

著書 分担執筆「SDGsと女性のエンパワメント：災害女性学の視点」高須幸雄・峯陽一編『SDGsと地域社会―宮城モデルから全国へ』(12章・1)明石書店、二〇二二

論文 Atsuko Shimbo and Mutsuko Tendo, 2022, "Creating Cultural Resources and Reading: A Case Study of Public Library and Parental Invisible Pedagogy in Tokyo", *International Journal of Educational*

論文「災害女性学を契機とするエンパワメント・モデルの構築と女性学教育の実践」「キリスト教文化研究所

研究年報 民族と宗教」宮城学院女子大学、第五十六号、一―二七頁、二〇二三年三月

論稿「クリスチャニティと女性の教育―個人的素描」「日英教育研究会ニュースレター」第七卷第二号

「国際シンポジウム報告」「女性の語りに見る文化伝達とジェンダー変容」「東アジアの家庭教育にみる文化伝達と

家族戦略の変容」早稲田大学国際会議場第二会議室、二〇二二年二月二三日

その他 ワークショップ報告(共同) 国立女性教育会館(NWEC) 男女共同参画ワークショップ、天童睦子・

宮城学院女子大学学生有志「若い世代の防災力をエンパワメントする―大学からの発信」二〇二二年一月二日

一八日

八 木 祐 子 教授

研究ノート「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡(その4)」『多民族社会における宗教と文化』No.26 五

―一七頁 宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所、二〇二三年三月

エッセイ「既存の価値観―視座転換させ 可視化を」『河北新報』「座標」二〇二二年一月二九日

「腕時計」『河北新報』「カリヨンの調べ」二〇二二年二月五日

「コロナ後の社会―他人との距離感 大切に」『河北新報』「座標」二〇二二年二月二二日

「ウクライナ侵攻―難民救済へ迅速支援を」『河北新報』「座標」二〇二二年三月二二日

「インドの伝統に学ぶ―身体の声聞き 病氣予防」『河北新報』「座標」二〇二二年四月二三日

「IT大国のインドーデジタル化 農村も急速」『河北新報』「座標」二〇二二年五月二八日

「北インドの結婚式ー農村社会の変化を反映」『河北新報』「座標」二〇二二年六月二五日

研究発表「コロナ禍のインドーフィールドからの報告」『コロナ禍の南アジア』（宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、二〇二三年二月二五日）

出前講座 「北インドの聖地巡礼」『旅と人間』（宮城学院女子大学人間文化学科地域開放講座、ブランチ仙台、二〇二二年五月一四日）

海外調査 北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区 二〇二二年八月二一〜二〇二二年八月二九日

「北インド、ボージリプリー文化圏の民謡に関するジェンダー分析」に関する海外調査（文部科学省科学研究費、基盤研究C）

北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区 二〇二二年八月三〇日〜二〇二二年九月六日「北インド、ボージリプリー文化圏における家族と女性ー儀礼と民俗歌謡を中心として」に関する海外調査（宮城学院女子大学、研究助成費）